

評価領域	進路指導
------	------

重点目標	生徒一人一人が進路希望実現に向けて自律した取り組みができるよう支援する。		P
現 状	進路希望が多岐に渡る。それぞれの進路希望に対応した取り組みが必要である。		
具体的な目標	それぞれの進路志望に対応し、3年間を見通した進路計画を研究、実施する。		
目標達成のための方策	①生徒の学習機会の確保に努め、自律した学習習慣を確立させる。②それぞれの進路希望に向けた指導に全職員で対応する。また、外部機関を有効に活用する。		
具体的な取組状況	家庭学習時間を確保する取り組みを会議で検討。3年生の小論文・面接指導・個別試験対策等を全職員で分担した。就職課外・公務員セミナー・進学課外に分かれきめ細やかに対応した。大学・予備校・専門学校講師による講義やガイダンスを実施した。		D
達成状況	各学年部で協力体制がとられ、それぞれ進路計画を実施している。しかし、与えられた課題をきちんと行う姿勢や習慣は身に付いたが、受動的でまだ自主性に欠ける。		
自己評価	(評価) B	模擬試験・課外・各種検定等の参加率が良く、各教科の課題提出状況も良好である。しかし、進路希望に見合った学習に繋がっていない。課外やオリエンテーションを通して進路別の学習法を確立する必要がある。	C
↑ 評価基準 ↓ A：具体的な活動がなされ目標を達成できた B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない			
学校関係者評価と意見	A	授業以外でも課外や部活動、生活指導に親身なって対応していて、生徒との距離が近く一人一人をよく理解している。そういったことが進路活動にも良い影響を与えていくと思われる。	C
自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	<進路意識>・他学年と一緒にガイダンスや課外、講義等の活動を行うことで互いに向上する。・校外講師の活用と校外活動の充実 <学習指導>・進路に応じた具体的学習方法を早期に指導する。・家庭学習の質を高め、自主的に学習する姿勢を身に付けさせる。		